

令和6年度後期 学生を対象とした授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：看護研究方法特論Ⅱ	授業コード：M11012
担当教員氏名	永井睦子、岡田実、土田幸子
・引続き修論作成に勤しんでください。 ・研究計画書の作成ははじめてで、文献レビューを繰り返し行い整理していくことなど大変でしたが、常に真摯に向き合う姿勢で取り組まれました。研究計画概要発表会での助言を受け止め、その後の研究計画に活かすことができていました。	

授業科目名：臨床倫理特論	授業コード：M11003
担当教員氏名	濱中喜代、三浦靖彦、石井真紀子
14項目において3の評価が7項目であった院生もいたものの、他は4～5の評価であり、授業において一定の評価が得られていた。教員と合わせて5～6名で意見交換しながら進めていたことから、「意見交換をする機会が多く、先生方も共に考えを述べてくださったので、多くの知見を得ながら倫理事例検討することができました。」との回答あり、当初の計画が功を奏したと考える。また、今年度から清水先生から医師である三浦先生に担当が代わった訳であるが、透析患者の意思決定に関して興味を持って、受講後も自己学習していきたいとの回答があり、次年度以降も学生の関心を引き出すように継続して指導にあっていきたい。	

授業科目名：医療社会学特論	授業コード：M11007
担当教員氏名	上田耕介
概ね高評価で良かったです。特に、「授業から知的刺激を受け、関連する学習を進めたいと思いましたか」の項目で最高点であったことは、大変にうれしいです。今後とも、研究上の相談や質問があったら、いつでもお越しくください。	

授業科目名：コンサルテーション特論	授業コード：M11009
担当教員氏名	岡田実
授業では積極的な意見交換ができたと思います。この調子でディスカッションを楽しむようにしてください。	

授業科目名：基礎看護学特論Ⅱ	授業コード：M21002
担当教員氏名	永井睦子
基礎看護学領域の臨地実習指導の経験を省察し、看護援助技術について考察できたことはとても有意義であった。また、これまでの臨床経験や現在の看護の現状をふまえて、看護において重要な視点を改めて考えられたことも貴重な学修であったと考える。	

授業科目名：基礎看護学演習Ⅱ	授業コード：M21004
担当教員氏名	永井睦子
基礎看護学領域の臨地実習指導に関する研究テーマについて文献検索し、文献の検討にしっかり取り組むことができた。文献のクリティークを重ねることで、文献から知見を読み取る視点も増えていき、今後の研究活動につながる学修となったと考える。	

授業科目名：精神看護学特論Ⅱ	授業コード：M31014
担当教員氏名	岡田実
引続き修論の作成に勤しんでください。	

授業科目名：精神看護学演習Ⅱ	授業コード：M31016
担当教員氏名	岡田実
引続き修論の作成に勤しんでください。	

授業科目名：看護管理演習	授業コード：M41004
担当教員氏名	土田幸子、高橋明美
本科目を開講するために前期科目での学修を活用できるように授業内容を見直した。その結果、今後の研究活動に学修成果を活用できると強く思っていたことは、成果があったと考える。また、この科目と同時期に看護研究計画の発表の時期も重なったため負担があり、事前準備に関する項目の評価が伸びなかったと思われる。 今後は、スケジュールを踏まえて授業時間の調整を行っていきたい。	

授業科目名：看護学特別研究	授業コード：M51001
担当教員氏名	橋本美幸、濱中喜代、江守陽子、土田幸子、鈴木るり子、三浦靖彦、上田耕介、牛渡亮
・今年度は途中退任の教員がいたことから、急遽丸合教員として、M2 の後半から研究指導の主指導教員として携わり、研究課題そのものの難しさを感じながらも、副指導の教員とともに院生の誠実な対応を目の当たりにして、最終的には教員として充実感のある研究指導ができたと考えている。院生からの声として「要旨へのキーワード記載、審査時の録音など修士論文作成要項および審査等に定められていないことがあり、学生として戸惑うことがあった」とあったことは、次年度に向けて、整理し、要項などに定める必要がある。 また、教員からの研究支援について、「主指導教員から研究の作成支援を受けることができるとベストなのだと思います。」との意見は最も、今後はこのようなことがないように進捗状況を把握するなどして、より良い環境を整え、研究に安心して取り組むことができるよう、進めたい。「少しでもいいものに」と最後までともに努力した院生の皆様の今後の活躍に期待したい。 ・今年度になってから前任者から副指導を引き継ぎました。仕事を持ちながら頑張る学生の姿を見て、こちらが刺激を受け、研究のエネルギーをもらいました。今回お手伝いをできて幸いでした。反省点としては、前任者との引き継ぎが十分でなかった、ということがあります。引き継ぎはしているのですが、より綿密にやっておくと指導が一層行き届いたものになったのではないかと感じています。 ・修士課程は2年間のため、1年目は研究倫理審査申請書作成にエネルギーをかける必要があります。申請書の作成により、研究内容等がさらに明確になり2年目からの調査・分析・論文作成に取り組めます。時間の拘束もありますが、指導教員はじめ修論仲間との力学でより良い修士論文を完成させてください。 ・2、3年間の大学院修士課程での学修お疲れさまでした。本学の大学院の学生さんは全員が有職の身での学修者でしたから、そのご苦勞はいかばかりだったろうとご推察いたします。ですが、一念発起して大学院課程で勉学を志されたその決意と行動力には、心から敬意と称賛の辞を送りたいと思います。 研究は、大学院での学修の集大成となりますが、研究の「はじめ」であって「完結」ではありません。「ああすればよかった」、「これが足りなかった」、「こんなこととは思っていなかった」等々、後悔や不全感を抱かれることもあるかと思います。もう一度、初めからやり直したいと思うこともあるかもしれません。長いこと研究者生活を送っている私も、一つの研究をまとめた後には満足感もありますが、悔いが残ることが多いです。そして、次はこうしよう、今度は抜かりなく準備しようと、心に誓うのです。 修士論文は、産みの苦しみの末に生まれてきた我が子です。大切にしてください。そして、しばらくして疲れが癒えたら、第二子、第三子となる次の研究論文を産んで社会にも貢献しつつ、にぎやかな楽しい人生を送ってください。	

令和 6（2024）年度授業評価アンケート

【科目名：大学で入力】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※教員が複数で担当している場合はおおむねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

No.	質問内容	全くそう思わない	強く思う
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
2	指定された参考図書や教科書は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
3	配布されたレジュメや資料は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
4	授業の回数は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
5	1回の授業での進度は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
6	開講時期や曜日、時間は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
7	講義方法は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
8	授業は、理解しやすい内容でしたか。	1	2 3 4 5
9	教員の指導やコメントは、適切でしたか。	1	2 3 4 5
10	プレゼンテーション（担当課題）の事前準備は適切でしたか。	1	2 3 4 5
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は適切でしたか。	1	2 3 4 5
12	授業に参加する態度（質問や発言）は適切でしたか。	1	2 3 4 5
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。	1	2 3 4 5
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。	1	2 3 4 5
15	この授業に関する感想、意見、要望をご自由に記載して下さい。		

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

2024 年度後期・授業評価アンケート内容（看護研究方法特論Ⅱ）

【科目名：看護研究方法特論Ⅱ】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。
個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。
回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

No.	質問内容	回答方法
1	本科目は、各々の指導教員が主となって実施されました。 次の設問では、主に授業の内容について、良かった点や困った点、今後のご要望を自由にご回答ください。	自由記述
	研究計画書作成から研究計画概要発表会への参加、指摘事項に対するレターの作成まで（研究背景・目的・研究方法・研究デザイン・データ収集方法及び分析方法の検討・倫理的配慮・質問紙の作成・依頼文の作成・研究計画のプレゼンが含まれます） (長文回答)	

No.	質問内容	回答方法
2	次の設問では、授業内容以外について自由にご回答ください。	自由記述
	その他、自己の研究姿勢や教員からの研究支援全般等に関するご感想やご意見、ご要望についてご回答ください。 (長文回答)	

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

2024 年度通年・授業評価アンケート内容（看護学特別研究）

【科目名：看護学特別研究】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。
個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。
回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

No.	質問内容	回答方法
-	次の設問では、良かった点や困った点、今後のご要望をご回答ください。 なお、本科目の場合、授業は大学院生と指導教員との間の個別指導に近い形で行われています。 そのため、以下の設問で研究プロセスとして記されている内容は、正規の授業時間外（場合によっては過年度）に実施されたかもしれません。 ここでは、そのような形で行われた研究支援を含めて、評価してください。	自由記述
1	研究課題決定から研究計画書作成まで（研究方法・研究デザイン・データ収集方法の検討、倫理的配慮・手続き、研究計画書作成、倫理審査委員会提出書類作成・提出が含まれます） （長文回答）	
2	データ収集から発表・評価まで（データ収集・分析、修士論文作成、発表・評価が含まれます） （長文回答）	

No.	質問内容	回答方法
-	次の設問では、授業内容以外について自由にご回答ください。	自由記述
3	その他、自己の研究姿勢や教員からの研究支援全般等に関するご感想やご意見、ご要望についてご回答下さい。 （長文回答）	

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

大学院授業改善報告書

授業科目名：	授業コード：
担 当 教 員 氏 名	
開 講 年 度 ・ 時 期	令和 6 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等 <u>(この部分はHPで公開します)</u>	
2. 受講している院生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 <u>(この部分は大学院FD委員会で共有します)</u>	

＜令和7年3月28日（金）を目途にご提出願います＞